

地域コミュニティ活性化事業

[726]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人がふれあうまちづくり	事務事業コード	71-0101	実施計画	対象
施策	01	市民によるまちづくり活動の推進と支援	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	地域コミュニティの活性化	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(地域住民) 自治連合協議会、連合自治会 自治会、町内会	<ul style="list-style-type: none"> <自治会等助成金> ・自治会・町内会の運営に必要な経費を助成する。(1世帯あたり350円) <コミュニティ活動推進補助金> ・連合自治会が実施するコミュニティの振興を図る事業に要する経費を補助する。 (1団体あたり1,000,000円+1町内会あたり2,000円+1世帯あたり230円) <自治会等活動促進助成金 事業提案型助成金(H21年度新設)> ・自治会等が行うまちづくり事業などに対し、申請書類と公開プレゼンテーションにより内容を評価し、事業に要する経費を助成する。 (対象経費の1/2以内(新規申請団体は2/3以内)、限度額10万円) <市民活動保険> ・自治会、ボランティア、市民団体等の行う、公益的な活動中に発生した事故に対処するため、市民活動保険に加入する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	自治コミュニティ関連助成金額	千円	21,977	22,036	22,300	21,928	
成果指標	地域活動が活発に行われていると思う市民割合	%	19	19	20	19.8	
	自治会事業提案型助成金により実施されている事業数	事業		7	9	7	
事業費 計			26,561	26,341	24,793	24,008	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		2,400	2,501	1	1
		オ 一般		24,161	23,840	24,792	24,007

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>
--------	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	自治会等の活動に適した、より使いやすい制度とするよう、自治会等に対する助成制度の見直しを検討します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
連合自治会を対象とする各種事業費補助を統合し、申請に係る負担軽減を図った。			

公民館利用者協議会支援事業

[725]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	71-0102	実施計画	
施策	01	市民によるまちづくり活動の推進と支援	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	地域コミュニティの活性化	担当	教育委員会事務局 生涯学習課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	地区公民館等利用者協議会	尾張旭市立公民館利用者協議会設置育成要綱により、各地区公民館等(宮浦会館を含む。)に設置されている利用者協議会に対し、実施事業に対して、9万円以内の補助金を交付する。 利用者協議会は年間計画を作成し、補助金の交付を申請する。市は内容を審査し交付決定の後、補助金を交付する。事業終了後、協議会は実績報告書を提出し、市が内容を審査して補助金の確定を行う。 各地区公民館で、自治会関係資料などの作成(印刷)などの支援を行っている。 <公民館利用者協議会> 構成：自治会、校区社協、子ども会、婦人会、PTAなどの公民館を利用しているグループ 活動内容：講座やイベントの運営や援助、公民館等利用者協議会だよりの発行など
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	地区公民館等を利用する各種団体が連携し、地域の特性を生かした生涯学習や地域振興の拠点として公民館が活発に利用されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	補助金額	千円	616	616	650	606
成果指標	地区公民館等利用者協議会が行っている講座などの事業数	件	11	14	15	14
	地区公民館等(宮浦会館を含む。)の利用者数	人	182,645	187,501	197,000	161,400
事業費 計			616	616	650	606
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	616	616	650

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	(状況) 地区公民館利用者協議会が開催する講座等事業数は微減、地区公民館の利用者数は減少している。 (原因) 年度末に新型コロナウィルス対策により公民館の使用が中止されたことにより事業、利用者ともに減少した。
--------	--	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	公民館利用者協議会への補助金について、各地区の利用状況を把握・分析し、見直しを検討します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	公民館利用者協議会への補助金要綱を改正した。		

スカイワードあさひ・旭城維持管理事業

[730]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業 コード	71-0202	実施 計画	対象
施策	01	市民によるまちづくり活動の推進と支援	評価区分	通常評価	総合 戦略	
基本事業	02	コミュニティ施設の整備と利用促進	担当	総務部 財産経営課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	施設(スカイワードあさひ及び旭城) スカイワードあさひ及び旭城利用者	平成21年度から 2施設一体で指定管理者制度導入 平成30年度 指定管理者選定(第3期:H31.4.1~H36.3.31) 指定管理業務 ・安全で快適に利用するための維持管理 ・施設の補修・修繕 ・施設利用申込みの受付業務 ・ギャラリー(4階)等で展覧会、講座を開催
	意図(対象をどのような状態にしたいのか) 適切な維持管理により、安全で快適に利用できる状態になっている。	指定管理者支援 ・コミュニケーション会議を開催(毎月) ・自主事業について、モニタリングチェックを実施(四半期ごと)

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動 指標	委託料(指定管理料)	千円			45,000	45,952
	モニタリング結果における評点Bの割合	%			0	0
成果 指標	トラブル(機器の故障等)の件数(施設の安全快適機能関係)	件	0	0	0	9
	年間施設利用数(部屋)稼働率(スカイワードあさひ)	%	41.5	41.5	41.5	40.1
事業費 計			47,131	61,827	53,245	56,461
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		47,131	61,827	53,245

R元年度実績の評価

成果 実績 評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 施設は適切に管理されており、年間施設利用数稼働率は横ばい。 (原因) 指定管理者による施設の適正な管理が実施されている。 自主事業の実施等により利用者サービスの向上が図られており、稼働率が維持されている。
----------------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施 取組 方針 実績 評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	スカイワードあさひの大規模改修工事に向けて、実施設計を行います。 子育て世代が立ち寄りやすい施設運営の推進や参加しやすい自主事業の計画に向け、指定管理者との調整を行います		
実施 取組 方針 実績 評価	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	スカイワードあさひの大規模改修工事に向けて、実施設計を行った。 子育て世代、親子が楽しめる新規の自主事業を実施し、参加者からも好評だった。		

地域集会所管理運営事業

[733]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	71-0203	実施計画	
施策	01	市民によるまちづくり活動の推進と支援	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	コミュニティ施設の整備と利用促進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	地域集会所 市民	<p><事務事業の内容について> 集会所の躯体に関する修繕等の実施 空調機・物置設置事業補助金の実施</p> <p><集会所について> 地域集会所は、地域が共同の意識のもと、そのコミュニケーションの醸成を図るという目的で設置するものであることから、運営については、地域の自主独立した考えの中で律するものであり、運営基準等は各地域によって定められている。維持管理についても、同様の観点から、地域が主体となるべきものであり、設置者たる市の関与は極めて限定的となる。 市と地元の自治会・町内会で管理運営委託契約を締結し、集会所の管理を地域へ委託している。 建物の躯体の維持に支障が生じた場合などの修繕は市が行う。 光熱水費、備品、消耗品、清掃費、小規模な修繕などの維持管理に係る費用は、原則、地域が負担する。 修繕については、地域の負担が過大な場合は、市が行う場合もある。</p>
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
	地域集会所が快適、安全に利用されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	修繕・工事件数	ヶ所	8	14	10	16	
	空調機設置補助金額	円	250,000	450,000	450,000	516,000	
成果指標	地域集会所のべ年間利用者数	人	75,459	75,478	78,000	63,631	
事業費 計			2,867	2,318	4,530	4,584	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	2,867	2,318	4,530	4,584

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

ふれあい会館管理運営事業

[734]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人がふれあうまちづくり	事務事業コード	71-0204	実施計画	
施策	01	市民によるまちづくり活動の推進と支援	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	コミュニティ施設の整備と利用促進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	ふれあい会館 市民	<ul style="list-style-type: none"> 市民の福祉の増進及び文化の向上を目的として設置。利用者は市民に限らず、主にサークル活動などに利用されている。 市は各ふれあい会館において施設、設備の保守点検及び不具合が生じた箇所の修繕を行い、利用者にとって快適、安全な利用環境の維持に努める。 各ふれあい会館の管理業務は近隣住民に委託 <管理業務内容> 鍵の開閉・使用申請受付・戸締り・火の元確認・適時清掃・利用状況等の報告
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<施設使用料> 各部屋の面積に応じて設定(100円~600円/1時間)。 <施設利用方法> 使用する日の3ヶ月前から、各ふれあい会館管理人に利用希望日の空室状況を確認し、仮受付を済ませた上で、市役所窓口申請書を提出し、使用料を納付する(利用料減免となる団体は管理人への申請書提出も可。)。
ふれあい会館が快適、安全に利用されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	修繕・工事件数	円			10	15	
成果指標	ふれあい会館年間のべ利用者数	人	61,145	57,447	70,000	52,594	
指標・事業費	事業費 計		9,166	10,650	8,417	8,337	
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		2,671	2,526	2,900	2,231
オ 一般	6,495	8,124	5,517	6,106			

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	定期利用団体による利用減少に対応するため、利用者ニーズの把握を行い、現在の利用形態や利用方法にとらわれな い新たな利活用方法を検討します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	利用状況を把握し、空き時間を積極的に周知することで、定期利用団体の新規利用につなげた。		

コミュニティ施設整備事業

[1074]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人がふれあうまちづくり	事務事業コード	71-0205	実施計画	
施策	01	市民によるまちづくり活動の推進と支援	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	コミュニティ施設の整備と利用促進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	地域集会所 70 施設 老人いこいの家 14 施設 ふれあい会館 7 施設 城山コミュニティセンター 市民	「コミュニティ施設整備方針」に基づき、コミュニティ施設の整備及び管理を行う。 必要に応じて、「コミュニティ施設整備方針」の見直しを行う。
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
住民満足度の確保、多様な施設利用に応える機能、コストの縮減も意図した施設統合、地域の人的資源の活用といった視点を考慮し、地域組織と市が協働でコミュニティ施設を整備し、管理している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	計画づくりワークショップ開催数	回	0	0	0	0	
	計画策定にあたって統合対象となった施設数	施設	0	0	0	0	
成果指標	新コミュニティ施設の整備数	施設	0	1	0	0	
事業費 計			13,964	1,955			
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	13,964	1,955		

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし
--------	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	公共施設等総合管理計画に基づき、コミュニティ施設整備方針を見直します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	コミュニティ施設整備方針の見直しについて着手した。		

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	71-0206	実施計画	
施策	01	市民によるまちづくり活動の推進と支援	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	コミュニティ施設の整備と利用促進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 施設利用者(市内在住者)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	平成20年4月から指定管理者制度を活用。施設に関するワークショップでの意見を加味した運営が期待される。また、ワークショップ参加者の有志により、施設活用の充実を図るボランティアが組織されており、自立した住民活動を活性化させるよう、適切な支援を図る。 施設の管理運営に関する基本協定書に基づき、指定管理期間の各年度毎に指定管理業務に係る協定を締結する。指定管理者の管理運営をモニタリングし、管理運営の充実を図る。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	・利用者が安全、快適、公平に利用できる。 ・誰もが気軽に立ち寄れる空間となっている。 ・多世代間の交流が図れている。 ・自然体験、健康増進の機会が提供されている。	<業務内容> ・安全で快適に利用できるよう維持管理を行う。 ・施設の補修・修繕などを行う。 ・施設利用申込みの受付業務等を行う。 ・必要に応じてボランティアが企画した事業に協力する。 <施設管理運営(指定管理者制度)> ・指定管理者 シンコーススポーツ株式会社名古屋支店(第2期から継続) ・指定期間 平成29年度～平成33年度	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	指定管理料	千円		24,736	24,811	25,372	
	モニタリング結果による「B」の割合	%		1	0	0	
成果指標	新池交流館年間のべ利用者数	人	96,191	99,616	100,000	84,710	
	新池交流館利用者満足度	%	93	89	90	82	
事業費 計			25,246	28,776	25,211	25,908	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	25,246	28,776	25,211	25,908

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が小さい・なし
--------	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

城山コミュニティセンター管理運営事業

[1259]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	71-0207	実施計画	
施策	01	市民によるまちづくり活動の推進と支援	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	コミュニティ施設の整備と利用促進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 施設利用者(市内在住者)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が安全、快適、公平に利用できる。 利用者のニーズに合った施設となっている。 誰もが気軽に立ち寄れる空間となっている。 多世代間の交流が図れている。 	<p>施設の管理運営に関する基本協定書に基づき、指定管理期間の各年度毎に指定管理業務に係る協定を締結する。指定管理者による管理運営をモニタリングし、管理運営の充実に図る。</p> <p><業務内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 安全で快適に利用できるよう維持管理を行う。 施設の補修・修繕などを行う。 施設利用申込みの受付業務等を行う。 必要に応じて地元住民が自ら企画した事業の実施を支援する。 <p><施設管理運営(指定管理者制度)></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者 城山コミュニティセンター運営委員会 指定期間 平成30年度～平成34年度(第1期から継続) <p><施設構成></p> <ul style="list-style-type: none"> 集会室、フリースペース、キッチン

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	指定管理料	千円			4,138	4,138	
	モニタリング結果による「B」の割合	回			0	0	
成果指標	城山コミュニティセンター年間のべ利用者数	人	15,043	11,412	12,000	20,187	
	城山コミュニティセンター利用者満足度	%	97	94	90	78	
事業費 計			3,748	4,053	4,338	4,138	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	3,748	4,053	4,338	4,138

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>
--------	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

市民活動支援事業

[1020]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	71-0301	実施計画	対象
施策	01	市民によるまちづくり活動の推進と支援	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	ボランティア・市民活動の活性化	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(個人、ボランティア団体、NPO) 行政(本市)	<p><市民活動促進助成金> 市民活動団体が市内で実施する公益を目的とした非営利で地域社会の発展に役立つ活動に対し、事業費の一部を助成する。補助率は次のとおりで上限がいずれも10万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの一步部門 対象経費の3分の2 ・一般部門 対象経費の2分の1 <p><市民活動・NPO相談> 市民活動団体が活動に際して抱える課題や悩みに対し、専門のアドバイザーによる助言を受けられる機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期 7月～3月 8回 <p><講座> 市民活動を実施するために必要な情報やコツを習得するための学習機会を提供する。また、職員に対してはNPOへの理解を深めるための研修を実施する。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援センター利用登録団体に対し、活動場所等を提供する。 ・市民活動支援センター利用登録団体の活動について、PRをする。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>市民活動に対する理解が広がっている。 多様なボランティアやNPOが活動している。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	市民向け講座の参加人数	人	60	77	90	37	
	職員向け研修の参加人数	人	24	39	40	34	
成果指標	市民活動支援センター登録団体	団体	72	72	75	72	
	市民活動支援センター利用人数	人	3,086	3,173	3,200	2,705	
事業費 計			3,061	2,856	3,617	2,762	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		199	203	190	161
		オ 一般		2,862	2,653	3,427	2,601

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)市民活動支援センター登録団体は昨年度実績と比べ同数であった。 (原因)市民活動団体関係者の口コミや広報等で市民活動支援センターを知り、登録団体が増加したが、高齢化による団体の活動終了もあり、結果として横ばいとなった。</p>
--------	--	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	未設定
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

市民活動課庶務事務

[973]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	99-0301	実施計画	
施策	01	市民によるまちづくり活動の推進と支援	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民活動課の庶務事務 市民活動課職員	庁外文書の收受 文書の発送 庁内通知文書処理 庁内往復文書処理【調査・回答作成】 財務会計事務 課の予算・決算に関する事務 課の行政評価に関する事務 課のEMSに関する事務(H28まで) 課の週間日程調整に関する事務 部の週間日程調整に関する事務 出張命令書の処理 課の備品、消耗品の調達、管理 市民活動支援センター庶務に関する事務 部の連絡調整に関する事務 【1,875.5時間(:1人工)×0.35人工(コミュニティ係・市民活動支援センター庶務事務) 657時間】
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・市民活動課の庶務的な事務が正確かつ円滑に進んでいる。
 ・適切な庶務事務遂行により、市民活動課職員の事務遂行が円滑に行われている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			1,179	1,604	1,743	1,501
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般		1,179	1,604	1,743	1,501

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-